

別紙2 機能要件・帳票要件一覧

項番	必須要望 区分	機能大分類	機能小分類	機能要件
1	必須	1 基本機能	1 基本機能	1 GUI環境で業務及びOPACが行えること。
2	必須			2 管理者、センター管理者、学校司書、図書委員、教職員、児童・生徒等の役割ごとに、利用可能な機能及び参照・更新できる情報の範囲を設定できること。
3	必須	2 利用者管理	1 基本機能	1 利用者データのメンテナンスができること。
4	必須			2 利用者バーコードの印刷ができること。
5	必須			3 利用者ごとに通知メッセージの登録ができること。
6	必須	3 書誌・所蔵データ管理	1 基本機能	1 書誌データは「図書」「雑誌」「視聴覚資料」の3種類を管理できること。
7	必須			2 資料の装備に必要な資料コードのバーコードラベルや背ラベルの印刷ができること
8	必須		2 図書書誌管理	1 書誌データは必要に応じて修正・追加ができること。
9	必須			2 削除の際には、所蔵がある場合は警告メッセージを表示する機能があること。
10	必須			3 複本管理ができること。
11	必須			4 標準書誌データ（全件MARC等）は、提供方式、更新頻度及び学校側の登録作業の有無を明示し、継続的に最新情報を利用できること。
12	必須			5 標準書誌データの更新・削除権限を制御でき、学校側の誤操作により標準書誌が削除されないこと。
13	必須			6 各学校で修正・入力した書誌データを全件MARCと区別せずに検索・登録できること。
14	必須			7 各学校からの蔵書データ登録時の際、各学校独自のデータを入力できること。
15	必須		3 雑誌書誌管理	1 前号の巻号を利用し、容易に雑誌登録ができること。
16	必須			2 タイトルと各巻情報は分けて管理でき、検索ができること。
17	必須		4 視聴覚資料（AV）書誌管理	1 曲名、演奏者、出演者等の各種情報を登録できること。
18	必須			2 各種登録情報の項目を検索対象とすることができること。
19	必須		5 所蔵管理	1 複本の登録・管理ができること。
20	必須			2 ISBNコードのある本の蔵書登録は、ISBNコードと独自に貼付したバーコードの2つを読み取るだけで、書誌データと自動的に連携し登録できること。
21	必須			3 所蔵場所（棚）の管理ができること。
22	必須			4 貸出累計回数を確認することができ、また貸出累計回数は自動でカウントされること。

別紙2 機能要件・帳票要件一覧

項番	必須要望 区分	機能大分類	機能小分類	機能要件
23	必須			5 資料バーコードの組替処理ができること。
24				6 センター権限により、全学校を対象として、学校別及び年度別の蔵書数、購入受入数、寄贈受入数及び除籍数を一覧表示し、Excel又はCSV形式で出力できること。
25	必須			7 ステータスや所蔵場所については、変更日の管理ができること。
26	必須	4 貸出/返却業務	1 基本機能	1 長期休業、臨時休館日等の設定及びメンテナンスができること。
27	必須			2 休館日設定等を元に返却予定日が自動計算されること。
28	必須			3 利用者資格ごとに貸出冊数及び貸出期間の制限ができること。
29	必須		2 児童・生徒用貸出/返却機能	1 貸出中の資料名・返却予定日を画面で確認できること。
30	必須			2 貸出／返却の作業終了後、画面を切り替えることなく、次の貸出／返却の処理を実行できること。
31	必須			3 専用バーコードの操作により、貸出確定や貸出／返却の画面切替ができること。
32	必須			4 利用者カードを操作することにより、貸出画面へ自動的に移動できること。
33	必須			5 児童・生徒が自ら操作可能な貸出状況確認の機能があること。
34	必須			6 貸出画面には、年度内に借りた累計冊数表示ができること。
35	必須		3 教職員用貸出／返却機能	1 貸出／返却及び貸出更新が検索結果等に即時反映できること。
36	必須			2 利用者別に貸出の一覧表示ができること。
37	必須			3 貸出期限の変更ができること。
38	必須			4 貸出中の資料を任意に延期できること。
39	必須			5 延期回数が貸出規則の回数を超過したり、貸出延期する資料が予約資料の時は自動的にチェックし、音やメッセージで操作員に通知して可否の判断を促す機能があること。
40	必須			6 貸出／返却のコード入力はバーコードリーダーの他、キーボードからの入力にも対応していること。
41	必須			7 現在貸出中の資料名・返却予定日を画面で確認できること。
42	必須			8 貸出／返却の作業終了後、画面を切り替えることなく、次の貸出／返却の処理を実行できること。

別紙2 機能要件・帳票要件一覧

項番	必須要望 区分	機能大分類		機能小分類		機能要件
43	必須					9 専用バーコードの操作により、貸出確定や貸出／返却の画面切替ができること。
44	必須					10 利用者カードを操作することにより、返却画面であっても貸出へ自動的に遷移すること。
45	必須					11 貸出画面で利用者が特定されていない時、資料コードを操作すると返却へ自動的に遷移すること。
46	必須					12 予約中の資料が貸出可能になった場合は画面に表示できること。
47	必須					13 督促・予約有り等を自動的にチェックし、音やメッセージで操作員に通知できること。
48	必須					14 除籍・不明・予約・持禁資料を自動的にチェックし、音やメッセージで操作員に通知できること。
49	必須					15 未返却資料を貸出すと、今までの貸出利用者が確認でき、同時にその自動返却処理が行われること。
50	必須					16 資料の無効区分（不明・紛失）となっている資料が処理されると、自動的に解除処理を行うこと。
51	必須	5	督促	1	基本機能	1 返却期限を超過している資料の一覧が印刷できること。
52	必須					2 印刷の条件として返却予定日からの経過日数の他、返却予定日の範囲でも指定できること。
53	必須	6	予約	1	基本機能	1 先生用・生徒用両方の画面で以下の予約運用ができること。
54	必須					2 予約は、システム全体で同時に有効な予約件数1,000件以上を管理できること。提案者は、同一資料当たり及び学校当たりの上限を明示すること。
55	必須					3 検索結果から予約入力ができること。本が在架時でも貸出時でも予約が可能であること。
56	必須	7	貸出状況確認	1	基本機能	1 児童・生徒画面では利用者コードの入力で、現在の貸出状況・予約状況の確認を自ら行えること。
57	必須					2 先生用画面では、利用者検索から、その利用者の貸出・予約状況の確認ができる他、資料検索からは資料の貸出・予約状況の確認ができること。
58	必須	8	蔵書点検	1	基本機能	1 ハンディターミナルを使用した蔵書点検を行うことができること。
59	必須					2 除籍・未登録・棚違いの資料のチェックリストを印刷できること。
60	必須					3 返却処理をせず棚に置かれた資料については、自動的に返却処理が行われること。
61	必須					4 蔵書点検の結果、不明資料一覧を印刷することができること。

別紙2 機能要件・帳票要件一覧

項番	必須要望 区分	機能大分類		機能小分類		機能要件
62	必須					5 一定（任意指定可）回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること。また、除籍資料は任意に復籍することが可能であること。
63	必須					6 蔵書点検時に未登録本・仮登録本を検出した場合は、エラーリストにその情報が出力されること。また、エラーリストには、未登録本・仮登録本の資料コードだけでなく、直前に入力された本の書名も併せて表示され、容易に未登録本を探すことができること。
64	必須	9	年度更新	1	基本機能	1 CSV形式のデータの取り込みによる新入生等の利用者データ一括登録ができること。
65	必須					2 クラス単位での進級／卒業処理が一括でできること。
66	必須	10	閲覧総計	1	基本機能	1 蔵書一覧等（「蔵書数」・「年度購入数」・「寄贈数」・「廃棄数」がわかるもの）の確認リストを各校ごとに出力できること。またユーザ権限によって全校分一括で出力できること。
67	必須					2 帳票データはCSV及びExcel形式へ出力ができること。
68	必須					3 日別、月別及び年別の貸出冊数帳票の出力ができること。
69	必須					4 多読者貸出資料の印刷ができること。
70	必須					5 資料毎の貸出実績の印刷ができること。
71	必須					6 分類別蔵書統計表の印刷ができること。
72	必須					7 全利用者の貸出履歴一覧の印刷ができること。
73	必須					8 図書原簿の印刷ができること。
74	必須	11	図書委員機能	1	基本機能	1 図書委員用の画面で日次帳票や統計帳票を出力できること。
75	必須	12	資料検索機能	1	児童・生徒用	1 各学校の図書業務端末やWeb検索端末から検索が可能で、書誌、所在、貸出状況等の情報がリアルタイムに表示できること。
76	必須					2 書名、著者名等のキーワードによる検索ができること。
77	必須					3 操作性に優れたGUIベースの検索が可能で、児童・生徒にも操作しやすいものであること。
78	必須					4 新着図書一覧の表示ができること。
79	必須					5 新着図書は受入日をもとに自動的に表示されること。
80	必須					6 検索結果一覧、検索結果詳細では、所蔵の有無、貸出状況も併せて表示されること。
81	必須					7 書名、著者名、出版者、任意定義項目、分類、ISBN、資料コード及び内容項目等を検索対象とし、AND・ORによる複合検索ができること。

別紙2 機能要件・帳票要件一覧

項番	必須要望 区分	機能大分類	機能小分類	機能要件
82	必須		2 教職員用	1 書名、著者名、出版者、任意定義項目、分類、ISBNコード、資料コード、内容項目等で資料検索することができること。
83	必須			2 書名、著者名、任意定義項目は、全半角混在で検索が行えること。
84	必須			3 検索項目ごとに前方・中間・後方一致の指定ができること。
85	必須			4 AND/ORを使用し、項目間の複合検索が行えること。
86	必須			5 検索した時の条件を保存し、その後条件を付加して絞込検索が行えること。
87	必須			6 資料検索の結果、その書誌の所蔵状況（貸出中・未所蔵資料等）の確認ができること。
88	必須			7 資料詳細画面で貸出中資料の場合、利用者氏名と返却予定日の確認ができること。
89	必須	13 図書館流通センター（TRC）との連携機能	1 全件MARC連携機能	1 管理者又は権限を付与された教職員が、採用するMARC提供元及び外部書誌サービスとの連携条件を設定できること。
90	要望			2 児童・生徒用画面から調べ学習に必要な学習件名、教科書単元等による検索ができること。 MARC提供元又は外部サービスにより機能差がある場合は明示すること。
91	必須		2 ローカルデータデリバリー機能	1 書籍発注サービス等から提供される書誌・所蔵データを利用して、購入資料を自動又は一括で登録できること。
92	要望			2 連携データは学校コード等に基づき、対象校へ正しく振り分けて登録できること。
93	必須			3 ネットワーク障害等により連携データを取得できなかった場合、復旧後に再取得又は再取込みができ、二重登録を防止できること。
94	要望			4 外部サービスから受信する登録、修正及び削除データを取り込めること。対応できないデータ区分、反映方法及び処理結果の確認方法を明示すること。

その他留意事項

- 学校図書館業務をサポートするシステムであること。
- プログラム及び各種データはサーバ又はクラウドサービス側で一元管理し、各学校にはデータベースサーバを設置する必要がないこと。
- 各学校での蔵書情報等の登録にあたっては、サーバのハードディスク内に登録された標準書誌データ（全件MARC）を活用でき、そこから必要な書誌データを即時に引き出せること。
- 標準書誌データは提供元との連携等により継続的に更新され、更新頻度、提供方式、障害時の取扱い及び学校側作業を明示すること。
- 学習件名、教科書単元等の調べ学習用データ・検索機能の提供範囲を明示すること。
- 図書以外にも雑誌、視聴覚資料（AV）の管理もできること。

別紙2 機能要件・帳票要件一覧

項番	必須要望 区分	機能大分類	機能小分類	機能要件
				● 業務端末は、調達時点でサポートされているWebブラウザの通常モードで利用できること。専用ソフトウェア等を必要とする場合は、その目的、対象端末、管理方法及び費用を提示すること。 ● 先生用及び児童・生徒用のインターフェースを有し、管理者、センター管理者、学校司書、図書委員、教職員及び児童・生徒等の役割に応じて権限を制御できること。センター権限による利用者、所蔵、書誌、コード及び帳票の参照・更新範囲を提案時に明示すること。 ● 標準書誌データの保持方式を外部書誌サービスとの検索・取得連携で代替する場合は、全件MARC保持方式との差分を、検索範囲、自動更新、修正・削除反映、所蔵自動登録、学習件名、障害時利用及び追加費用の項目を明示すること。 ● 児童・生徒用インターフェースは、小学校低学年の児童が利用することに十分配慮された、グラフィカルで分かりやすいものとする。